

実地視察大学の概要

○課程認定を受けている学科等の概要

大学名		武蔵野学院大学		設置者名		学校法人武蔵野学院			
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成21年度)				
学部	学科等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員 就職者数	
						実数	個別		
国際コミュニケーション学部	国際コミュニケーション学科	120人	中一種免(英語)	平成16年度	76人	2人	1人	0人	
			高一種免(英語)	平成16年度			1人		
			高一種免(情報)	平成16年度			1人		
入学定員合計		120人	合計		76人	2人	3人	0人	
大学名		武蔵野短期大学		設置者名		学校法人武蔵野学院			
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成21年度)				
	学科等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員 就職者数	
						実数	個別		
	幼児教育学科	100人	幼二種免	昭和56年度	85人	85人	85人	38人	
入学定員合計		100人	合計		85人	85人	85人	38人	
備考	・「学部・学科等の名称等」欄は、平成22年4月1日現在の名称・定員である。 ・「免許状取得者数」欄の「実数」欄には各学科等の実人数を、「個別」欄には各学科等内の教職課程ごとの人数である。								

実地視察大学に対する講評

実地視察日：平成22年7月23日（金）

実地視察大学：武蔵野学院大学・武蔵野短期大学

実地視察委員：安彦忠彦委員、平出彦仁委員、山極隆委員

■ 大学の教員養成に対する全般的な状況

<状況>

（大学）

- ・大学では1学部1学科で教員養成を行っている。

（短期大学）

- ・1学科で教員養成を行っている。

<講評>

（大学・短期大学共通）

- ・教員養成に関する教育課程、教員組織等については、全般的に基準を満たしており、良好に実施されている。
- ・今後も教員養成の維持向上に努めて欲しい。

■ 教員養成に対する理念、設置の趣旨等の状況

<状況>

（大学）

- ・建学の精神である「他者理解」を基に、国際的な視野をもち、自己や自国文化、および多様な他者に対する理解力に裏付けられた人材の養成を目指し、教員養成を行っている。

（短期大学）

- ・建学の精神である「自覚ある女性」の育成と、幼児の教育・保育者としての専門的な知識と能力を養うとともに、時代の要請に応え得るような人材養成を行っている。

<講評>

（大学・短期大学共通）

- ・教員養成に対する理念・構想が示されているが、それを明確化・具体化するために、教職課程に対する全学的な組織、教育課程や教員組織がより一層充実したものとなるように、今後も努めて欲しい。

■ 教育課程（教職に関する科目等）、履修方法及びシラバスの状況

<講評>

（大学・短期大学共通）

- ・教職の授業として、授業に出席するのは当然のことであるため、出席のみで加点するような評価方法は見直すこと。

（大学）

- ・授業科目「教育方法・技術」について、各科目に含める事が必要な事項である'情報機器及び教材の活用'が、授業においてどの様に取り扱われるのか不明であるため、確認することができるようにシラバスを修正して欲しい。
(短期大学)
- ・授業科目「児童文化」について、'教育に関する社会的、制度的又は経営的事項'を含む科目として開設されているが、授業科目の内容が科目区分の趣旨に合っていないため、再点検をして内容を修正するか、教職課程の位置づけから外して欲しい。
- ・授業科目「教育方法」について、各科目に含める事が必要な事項である'情報機器及び教材の活用'が、授業においてどの様に取り扱われるのか不明であるため、確認することができるようにシラバスを修正して欲しい。

■ 教育実習の取組状況

<状況>

(大学)

- ・教育実習校の確保の方法について、原則的に学生の出身校に依頼している。
- ・教育実習の受講資格として、「教育職員基礎学力試験」を実施するとともに、免許教科に応じて、他資格の取得を要件としている。

(短期大学)

- ・教育実習校の確保の方法について、幼稚園卒園学生は母園での実習を原則とし、保育園等卒園学生は大学が実習園を確保している。

<講評>

(大学・短期大学共通)

- ・母校実習については、大学側の対応や評価の客観性の確保の点で課題も指摘されているため、できるだけ避ける方向で検討して欲しい。
- ・実習に当たっては、実習校が遠方となる学生についても、フォローがしっかりと行われるように努めていただきたい。

(大学)

- ・教育実習の受講資格については、大学が独自の試験を実施し、派遣する学生の基礎学力を確認していることについては評価できる。また他資格取得等、教育実習の受講資格について高いハードルを課すことによって、教員免許の取得を希望する学生が諦めてしまわないように適切に履修指導していただきたい。

■ 学校現場体験・学校ボランティア活動などの取組状況

<状況>

(大学)

- ・教育分野及び福祉分野でのボランティア活動を行う授業科目「ボランティア1」を開設しているほか、地域の小学校と連携して総合的学習の時間への支援等を行っている。

(短期大学)

- ・海外の幼稚園や保育所等に訪問をする「アジア地域教育実習」を開設しているほか、附属幼稚園行事へのボランティアとしての参加等を行っている。

■ 教職指導及びその指導体制の状況

<講評>

(大学)

- ・教員免許状の取得を希望する者が少ない理由について現状分析を行い、教員免許状取得希望者を増やす努力をして欲しい。
- ・学生の教職課程科目の履修を困難にしている部分は改善し、教員免許の履修方法を明確にするため、教職課程履修案内を作成する等の取組を行うこと。

■ 教員養成カリキュラム委員会などの全学的組織の状況

<状況>

(大学)

- ・教職センターが設置されており、学生に対する履修指導や教育実習等の調整を行っている。

(短期大学)

- ・履修指導等については、教務部、実習部、担任のそれぞれから行われている。

<講評>

(大学・短期大学共通)

- ・大学、短期大学全体として教職課程を責任を持って運営していく上での中心的な役割を担う機関として、教職センター等の機能の充実・強化をはかってほしい。

■ 施設・設備（図書等を含む。）の状況

<現状>

(大学・短期大学共通)

- ・学内施設・設備、教育機器等は、学生数の規模に応じて整備されている。

(大学)

- ・情報機器については、来春から全ての新生に情報端末を無償貸与することとなっている。